

A. 指揮命令系統の確立

ここが一番肝心なところ

- 対策チーム／対策本部を編成する

- 参照「新型コロナウイルス感染症における事業継続計画作成マニュアル」日本在宅医療連合学会ホームページ

- クラスタ発生時の担当

- A) 指揮

- B) 資機材の管理

- C) 情報収集と外部連絡

- D) 記録と内部広報

- E) 事業所内実施状況の集約と報告

– 普段からの担当

- A) 職員の健康状況把握
- B) 入居者（利用者）の健康管理
- C) 環境対策
- D) 資機材の確保
- E) 業務内容の確認と優先順位の決定
- F) 職員労務管理
- G) 相談体制と検査の手順などの整備
- H) 応援体制の整備
- I) 職員教育の徹底

- 定時ミーティングを実施する
 - 参加者
 - 司会：指揮
 - 参加者：全員
 - 頻度
 - 1日1–2回
- 指揮命令、情報共有方法の確立
 - オンライン定時ミーティングによる共有
 - 業務用SNSによる情報共有

- 保健所との情報共有方法
 - 定時に連絡
 - メールでの連絡
- 施設と保健所の役割の確認する
 - 最初に分担しておくとうわかりやすい
 - できることは自分たちでやる、できないところを手伝ってもらう
- 業務を縮小する
 - 必要な業務と優先順位の低い業務に分ける